

事務事業評価表

平成27年度【26年度事後評価】

会計名称	一般会計					
事務事業名	細々目01 農業基盤整備促進事業					
予算区分	款	06	農林水産業費		所属	農林水産課
	項	01	農林水産業費			
	目	04	農地総務費		連絡先	0594-24-1205
	細目	012	農業基盤整備促進事業			

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	下欄の対象指標	付記事項
整備を計画している排水路等の農業用施設		
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	下欄の活動指標	
国補助事業として、排水路の土地改良事業を実施 ・H26年度事業 小泉地区 排水路工 L=247.20m		
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	下欄の成果指標	
農地の集積、汎用化、省力化を進め高生産性農業が可能となる土地基盤を整備する。		

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	24年度	25年度	26年度	27年度当初	
対象指標	計画延長	m	-	-	247.2	135.0	
活動指標	整備延長	m	-	-	247.2	135.0	
成果指標	整備進捗率	%	目標値 実績値	- -	- -	100.0 100.0	100.0
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計			0	0	6,828	6,020
	財源内訳	国支出金	千円			3,240	2,760
		県支出金					0
		地方債				2,900	2,400
		その他					0
		一般財源					688
所要人員 (正職員・嘱託)		人工	0.00	0.00	0.05		

進捗評価

(事務事業の成果とその向上余地について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

成果向上の余地はあるか。

- ある (向上)
- 維持
- なし (低下)

土地基盤の整備により、高生産性農業が可能となり担い手農家、集落営農組織の育成が図られることは大である。